

# 株 主 通 信

2021年6月



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード:5911

## YBHD NEWS No.61

- 第157回 定時株主総会決議ご通知
- 第157期 事業報告書

## To Our Shareholders

### 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第157期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、株主通信をお届けし、その概況をご報告申し上げます。

橋梁事業につきましては、新設橋梁も含め事業環境は好転しており、第5次中期経営計画策定時点では、業績は横ばいまたは減少傾向を想定しておりましたが、2021年3月期は受注高・売上高・営業利益の何れにおいても過去最高を更新いたしました。また、高速道路の大規模更新・修繕工事や4車線化事業に加え、大阪湾岸線西仲部の事業化により、需要に力強さが感じられ、今後も同水準の業績の維持・拡大が期待できるものと考えております。

システム建築事業につきましては、2工場体制(袖ヶ浦市・茂原市)の確立については概ね計画どおりに進んでおり、損益管理体制の強化により採算性は確実に向上しておりますが、コロナ禍による景気低迷が長期化するなか、工場関係の建設計画の遅れや見直しにより受注が低迷し、本来の回復の姿には至っておりません。今期は工場関係を中心に需要回復の兆しが見られるため、市場の回復・拡大とシェアアップにより、2年間の停滞から抜け出し、本来の成長軌道に戻っております。

また今期は、2019年度を初年度とする第5次中期経営計画の最終年度であります。数値目標につきましては、売上高1,600億円の達成はやや厳しいものの、営業利益140億円は達成できる見通しとなっております。来期から始まる第6次中期経営計画につきましては、各事業分野について中長期



代表取締役社長  
高田 和彦

的な事業環境の分析等を行い、持続的な成長を実現するための計画を策定してまいります。

当社は株主の皆様に対する利益配分を最重要施策の一つとして認識し、業績ならびに今後の事業展開に伴う資金需要などを総合的に勘案のうえ、安定した配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、この基本方針に基づき、1株当たり30円とし、中間配当を含めた年間配当は1株当たり52円と、前期に比べ15円の増配とさせていただきます。

厳しい事業環境が続きますが、グループ一丸となり、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

## Notice Of Resolution

### 決議通知

## 第157回定時株主総会決議ご通知

2021年6月25日開催の当社第157回定時株主総会におきまして、以下のとおり報告ならびに決議されましたのでご報告申し上げます。

- 報告事項**
- 第157期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件**  
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。
  - 第157期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類報告の件**  
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

### 決議事項

**第1号議案 剰余金の配当の件**

本件は、原案どおり承認可決されました。  
(期末配当金は1株につき30円と決定いたしました。)

**第2号議案 定款一部変更の件**

本件は、原案どおり承認可決されました。

**第3号議案 取締役9名選任の件**

本件は、原案どおり承認可決され、取締役に藤井久司、高田和彦、高木清次、宮本英典、柴原一也、小林明、亀井泰憲、黒本和憲の8氏が再選され、天野玲子氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。  
なお、亀井泰憲、黒本和憲、天野玲子の3氏は、社外取締役であります。

**第4号議案 監査役1名選任の件**

本件は、原案どおり承認可決され、監査役に大島輝彦氏が再選され、就任いたしました。

以上

本総会終了後開催いたしました取締役会において、次のとおり代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役  
取締役会長

藤井久司(重任)

代表取締役  
取締役社長

高田和彦(重任)

また、同じく監査役会において、廣川亮吾、大島輝彦の2氏が常勤監査役に選定され、それぞれ就任いたしました。

### 新役員紹介 New Member of the board



あまの  
天野 玲子

社外取締役

#### 略歴

1980年4月  
2005年4月  
2011年4月  
2014年2月  
2014年9月  
2014年10月

鹿島建設株式会社入社  
同社土木管理本部土木技術部担当部長  
同社知的財産部長  
同社知的財産部専任役  
同社退社  
独立行政法人防災科学技術研究所  
(現国立研究開発法人防災科学技術研究所)  
レジリエント防災・減災研究推進センター審議役

2015年4月  
2016年4月  
2016年6月  
2019年9月  
2021年6月

国立研究開発法人国立環境研究所監事(現任)  
国立研究開発法人防災科学技術研究所審議役  
東日本旅客鉄道株式会社社外取締役(現任)  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構監事  
(現任)  
当社社外取締役(現任)

## Financial Highlights

### 連結財務ハイライト

#### 橋梁事業

国内新設橋梁は発注量が持ち直し、大型の保全工事も多く発注され、高速道路の4車線化や大規模更新・修繕工事など大型案件を受注できたため、橋梁事業全体では過去最高の受注高。

#### エンジニアリング 関連事業

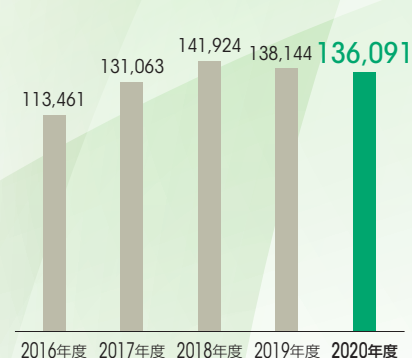
システム建築事業の受注の伸び悩みにより売上高、営業利益はいずれも前期比減。しかし、建築機鉄事業において海外大型工事を受注することができ、事業全体の受注高は前期比増。

#### 先端技術事業

精密機器製造事業の受注が好調であり、受注高、営業利益いずれも前期比増。

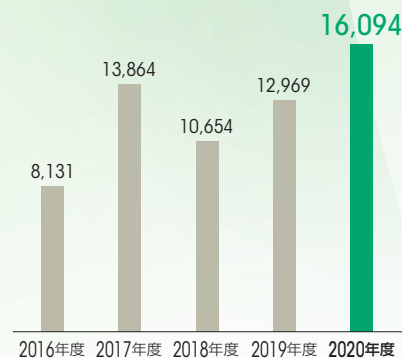
#### 売上高

(単位:百万円)



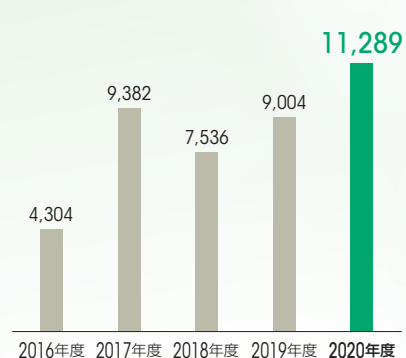
#### 経常利益

(単位:百万円)



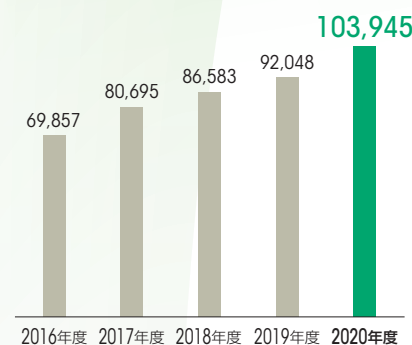
#### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



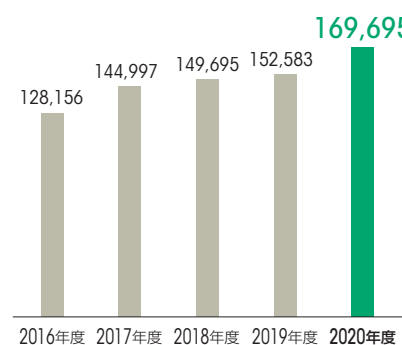
#### 純資産

(単位:百万円)



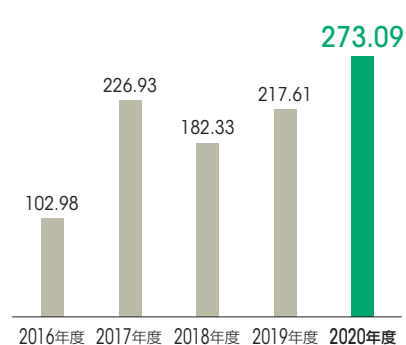
#### 総資産

(単位:百万円)



#### 1株当たり当期純利益

(単位:円)



## Financial Statements

### 連結財務諸表

#### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前 期 2020年3月31日現在	当 期 2021年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	93,891	104,632
固定資産	58,691	65,062
有形固定資産	36,877	39,072
無形固定資産	1,156	1,474
投資その他の資産	20,656	24,516
資産合計	152,583	169,695
<b>負債の部</b>		
流動負債	38,378	40,789
固定負債	22,156	24,960
負債合計	60,534	65,749
<b>純資産の部</b>		
株主資本	85,600	94,860
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	10,185	10,185
利益剰余金	69,592	79,140
自己株式	△ 3,612	△ 3,900
その他の包括利益累計額	3,810	6,269
非支配株主持分	2,638	2,815
純資産合計	92,048	103,945
負債純資産合計	152,583	169,695

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前 期 2019年4月 1 日から 2020年3月31日まで	当 期 2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで
売上高	138,144	136,091
売上原価	117,205	111,287
売上総利益	20,939	24,803
販売費及び一般管理費	8,056	8,837
営業利益	12,883	15,966
営業外収益	428	513
営業外費用	342	385
経常利益	12,969	16,094
特別利益	716	633
特別損失	239	204
税金等調整前当期純利益	13,446	16,523
法人税、住民税及び事業税	3,542	5,307
法人税等調整額	576	△ 338
当期純利益	9,327	11,554
非支配株主に帰属する当期純利益	322	265
親会社株主に帰属する当期純利益	9,004	11,289

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

#### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前 期 2019年4月 1 日から 2020年3月31日まで	当 期 2020年4月 1 日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,168	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,761	△ 5,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,101	2,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,675	△ 3,147
現金及び現金同等物の期首残高	24,414	22,739
現金及び現金同等物の期末残高	22,739	19,592

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

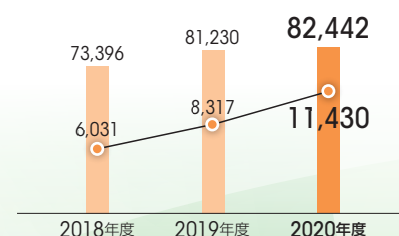




### 橋梁事業

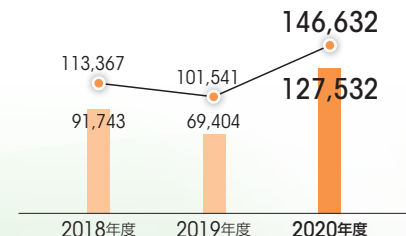
#### 売上高／営業利益

(単位：百万円)



#### 受注高／受注残高

(単位：百万円)



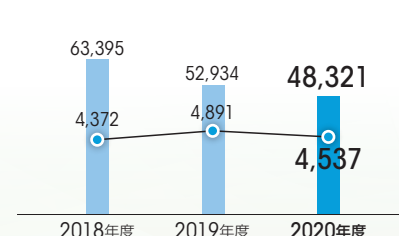
- 国内新設橋梁は発注量が持ち直し、大型の保全工事も多く発注され、高速道路の4車線化や大規模更新・修繕工事などの大型案件を受注できましたことから、受注高は過去最高を更新いたしました。業績につきましては、複数の長期大型工事の竣工時精算の獲得が重なりましたことや工事損失引当金の順当な減少が寄与したため、売上高、営業利益はいずれも過去最高を更新いたしました。今後も大型案件の取り込みを行うべく生産効率の向上や経営資源の配分の最適化を図ってまいります。
- 来期の業績は、売上高783億円、営業利益78.5億円と予想しております。



### エンジニアリング関連事業

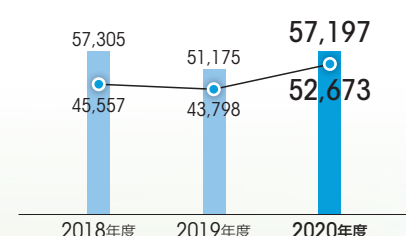
#### 売上高／営業利益

(単位：百万円)

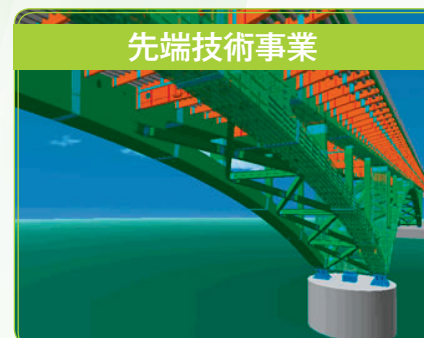


#### 受注高／受注残高

(単位：百万円)



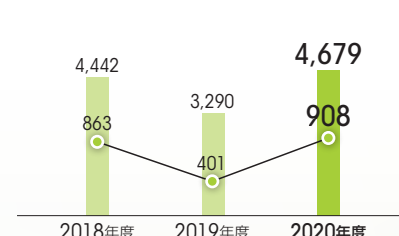
- システム建築事業の受注はコロナ禍が長期化するなか、一部案件の先送りや見直しの影響により低迷を余儀なくされましたが、建築機鉄事業において海外大型工事を受注することができましたため、事業全体の受注高は前期を上回りました。業績につきましては、システム建築事業の受注が伸び悩みましたため、売上高、営業利益はいずれも前期を下回りました。今後は着工が先送りされていた案件の始動も見込まれ、販路拡大やコスト縮減などに継続的な取り組みを行うことにより、確実に成長を回復させてまいります。
- 来期の業績は、売上高681億円、営業利益64億円と予想しております。



### 先端技術事業

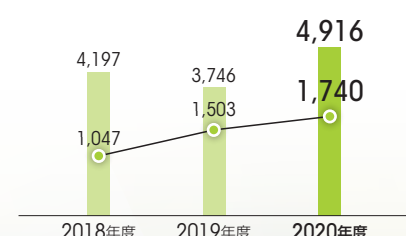
#### 売上高／営業利益

(単位：百万円)



#### 受注高／受注残高

(単位：百万円)



- 精密機器製造事業の受注が好調でありましたため、売上高・営業利益はいずれも前期を上回りました。
- 来期の業績は、売上高50億円、営業利益9億円と予想しております。

### 不動産事業

- 安定的な収入と利益を確保いたしました。
- 来期の業績は、売上高6億円、営業利益3.5億円と予想しております。

# ESGへの取り組み

横河ブリッジホールディングスグループは「社会公共への奉仕と健全経営」の理念のもと、社会インフラ整備や技術革新を通じて事業活動を展開しています。一方で近年、社会は大きく変化を遂げ、環境問題も深刻化しています。

そのような中、当社グループではESG(環境、社会、ガバナンス)の観点から、また各種SDGs(持続可能な開発目標)とグループ事業の方向性を踏まえ、グループとして優先的に取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定し、持続可能な社会の実現に向けて、社会における各種課題解決にも積極的に取り組んでまいります。

## 環境 Environment

「マテリアリティ」  
および関連性の  
高いSDGs



### 気候変動・自然災害

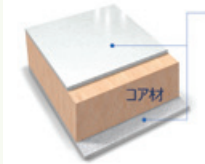
- 地震・津波・風水害など気候変動・自然災害による物理的リスクへの対応

### 国土強靱化への対応

- 災害に強い製品開発の要望への対応
- 国土強靱化へ向けた更新サービスやメンテナンス要望への対応



軽量で高耐久な「バルサ材」をコア材に使用した歩道橋用のFRPサンドイッチ床版と、歩道橋完成イメージ図



津波や高潮による被害を低減する「防災用プレキャスト防潮堤」



## 社会 Social

「マテリアリティ」  
および関連性の  
高いSDGs

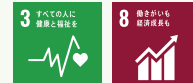


東日本大震災緊急復旧工事(二十一浜仮橋架設工事)

良質な製品の提供  
● 製品の安定供給  
● 品質確保

災害復旧支援  
● 災害復旧支援

「マテリアリティ」  
および関連性の  
高いSDGs



### 労働安全衛生

- 労働安全衛生の確保
- グローバルな健康課題への対応

「マテリアリティ」  
および関連性の  
高いSDGs



### 優秀な人材の獲得・育成と定着

- 優秀かつ多様な人材の獲得と育成の推進
- タレントマネジメント(能力開発/キャリアパス形成)
- 労働生産性の向上

### 人権

- 従業員や協力会社社員の人権の尊重
- ダイバーシティの推進

### 労働条件

- 過重労働の防止・ワークライフバランスの推進
- 同一価値労働同一報酬(公正な評価・報酬)



溶接体験の様子



社員教育研修

## ガバナンス Governance

「マテリアリティ」  
および関連性の  
高いSDGs



### 公正な事業慣行

- 公正な取引活動
- 腐敗防止

### 情報セキュリティ

- 情報セキュリティ管理

### 基本方針

- ① 株主の権利を尊重し、株主の実質的な平等性を確保します。
- ② 株主をはじめとするステークホルダーとの適切な協働に努めます。
- ③ 会社情報を適切に開示し、透明性を確保します。
- ④ 取締役会の役割・責務を適切に遂行し、透明かつ機動的な意思決定を行います。
- ⑤ 当社の長期安定的な成長の方向性を株主と共有して建設的な対話に努めます。

### 株主・投資家の皆様との対話

横河ブリッジホールディングスグループは、すべてのステークホルダーの皆様との公正で良好な関係構築を重視しています。ステークホルダーの皆様との対話による理解によって適正な評価をいただくことが中長期的な企業価値向上につながると考えています。

当社のIR活動は、金融商品取引法、証券取引所の会社情報適時開示規則およびその他法令・規則を遵守し、株主・投資家の皆様に可能な範囲で正確な会社情報を適時かつ公平にご提供することを基本としております。

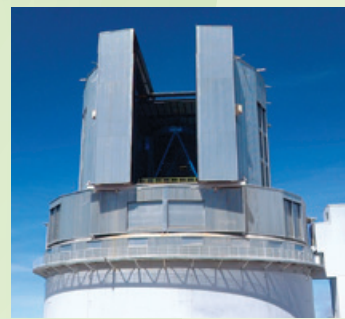


# アメリカ合衆国 ハワイ島 「すばる望遠鏡」メインシャッター改修

株式会社横河システム建築は、開閉式屋根で培った技術力と高い提案力で、すばる望遠鏡を保護するメインシャッター改修工事を受注し、2019年9月に竣工いたしました。

すばる望遠鏡は、アメリカ合衆国ハワイ島マウナケア山頂(標高4,205m)にある世界最大級の口径8.2mの主鏡を備える大型光学赤外線望遠鏡で、日本の国立天文台の望遠鏡です。

本改修工事は、1999年の運用開始から2019年に20年目を迎え、老朽化が進み、すばる望遠鏡を保護するドームの大型メインシャッターの開閉機構に不具合が発生したため、走行方向を安定させるガイドローラーの改修およびメンテナンス設備の製作・取付を行いました。



現場は、富士山より高い場所にあり、地上の7割程度の酸素量のため、小型酸素ポンペを背負いながら狭いスペースでの慣れない作業環境や現場までの片道約2時間の山頂への登降、夜の観測準備のため15時に作業終了となる限られた作業時間に苦労しましたが、関係者のご協力もあり無事に竣工を迎えることができました。

次世代望遠鏡の建設が予定されておりますが、株式会社横河システム建築は、今後益々の活躍に期待がかかるすばる望遠鏡を定期点検等で引き続き応援してまいります。

## Corporate Data & Stock Information

会社概要および株式情報 (2021年3月31日現在)

### ○ 会社概要

社名	株式会社横河ブリッジホールディングス
所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL:03-3453-4111 (代表)
資本金	9,435百万円
主な機能	経営戦略、法務・監査、経理・財務 総務・人事、IR・広報、技術研究開発

### ○ 役員一覧 (2021年6月25日現在)

代表取締役会長	藤井 久司
代表取締役社長	高田 和彦
常務取締役	高木 清次
常務取締役	宮本 英典
取締役	榎原 一也
取締役	小林 明
取締役	亀井 泰憲 (社外取締役)
取締役	黒本 和憲 (社外取締役)
取締役	天野 玲子 (社外取締役)
常勤監査役	廣川 亮吾
常勤監査役	大島 輝彦
監査役	志々目 昌史 (社外監査役)
監査役	八木 和則 (社外監査役)
監査役	吉川 智三 (社外監査役)

### ○ 株式の状況

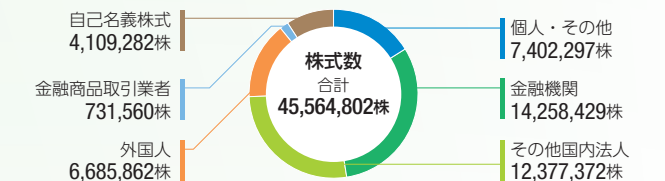
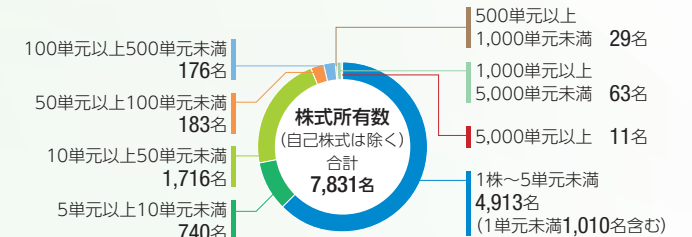
発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式総数	45,564,802株
株主数	7,832名

### ○ 大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,570	11.02
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,077	7.42
横河電機(株)	2,234	5.39
日本製鉄(株)	1,987	4.79
(株)日本カストディ銀行(信託口9)	783	1.89
住友不動産(株)	674	1.62
横河ブリッジホールディングス従業員持株会	592	1.42
日本生命保険相互会社	543	1.31
(株)日本カストディ銀行(信託口5)	520	1.25
三井住友海上火災保険(株)	514	1.23

(注) 1. 当社は、自己株式を4,109,282株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### ○ 株式分布状況



## ● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="https://www.ybhd.co.jp/">https://www.ybhd.co.jp/</a>



表紙の写真

### 新町川橋

所在地：徳島県徳島市東沖洲地先  
鋼量：2,842 t (当社グループ施工分)  
型式：鋼3径間連続鋼床版箱桁橋

徳島南部自動車道(徳島沖洲IC～徳島津田IC 延長2.4km)の中央部に位置する新町川橋は、橋長500mの鋼3径間連続鋼床版箱桁橋で、連続箱桁橋として支間長250mは国内最大級の規模を誇ります。大ブロック一括架設では、日本最大の起重機船(4,100 t 吊)を使用し、2021年3月21日に開通しました。

 **株式会社 横河ブリッジホールディングス**

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号  
TEL. 03-3453-4111 (代表) <https://www.ybhd.co.jp/>

当社のホームページもご覧ください。

<https://www.ybhd.co.jp/>

当社のホームページでは、企業情報のほか、グループ各社の事業紹介、IR情報に加え、サステナビリティなどさまざまな情報をタイムリーに発信しております。是非アクセスしてみてください。



トップページ



IRページ

サステナビリティ

